

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	北海道科学大学
設置者名	学校法人北海道科学大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
工学部	機械工学科	夜・通信			24	24	13	
	情報工学科	夜・通信			14	14	13	
	電気電子工学科	夜・通信			23	23	13	
	建築学科	夜・通信			41	41	13	
	都市環境学科	夜・通信			43	43	13	
情報科学部	情報科学科	夜・通信			18	18	13	
薬学部	薬学科	夜・通信			52	52	19	
保健医療学部	看護学科	夜・通信			87	87	13	
	理学療法学科	夜・通信			36	36	13	
	義肢装具学科	夜・通信			75	75	13	
	臨床工学科	夜・通信			43	43	13	
	診療放射線学科	夜・通信			85	85	13	
未来デザイン学部	メディアデザイン学科	夜・通信			16	16	13	
	人間社会学科	夜・通信			30	30	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学 Web サイト「HUS ナビ・教務ブック」において公表 https://navi.hus.ac.jp/system/ 各学科ページの「授業計画書（シラバス）」欄にリストを掲載

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北海道科学大学
設置者名	学校法人北海道科学大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人のホームページ (<https://ed.hus.ac.jp/about/soshiki/>) にて公表

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 コバエンジ ニア 代表取締役	2023. 5. 26 ～ 2025. 6. 19	卒業生の見地から 助言
非常勤	田中・山崎法律事務所 所長、弁護士	2023. 5. 26 ～ 2025. 6. 19	法令分野の知見か ら助言
非常勤	株式会社北海道二十一 世紀総合研究所 顧問	2023. 5. 26 ～ 2025. 6. 19	社会貢献分野の知 見から助言
非常勤	医療法人溪仁会 理事長	2023. 5. 29 ～ 2025. 6. 19	薬学・保健医療分野 の知見から助言
非常勤	一般社団法人札幌観光 協会 特別参与	2021. 05. 26 ～ 2025. 6. 19	社会貢献分野の知 見から助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道科学大学
設置者名	学校法人北海道科学大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画書(シラバス)の構成】 本学のシラバスは、以下の項目で構成されている。 (工学部・情報科学部・薬学部・保健医療学部・未来デザイン学部)</p> <p>1.授業の基本的情報 (科目名、科目コード(科目ナンバリング)、単位数、科目区分、学年・開設期、担当教員)</p> <p>2.授業の目的</p> <p>3.授業の方法</p> <p>4.授業計画(事前事後学修の具体的内容と時間、使用する教科書と参考書も含む)</p> <p>5.ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との対応</p> <p>6.達成目標</p> <p>7.履修に当たっての留意点</p> <p>8.試験及び成績評価の方法</p> <p>(薬学部) ※2023年度まで</p> <p>1.授業の基本的情報 (科目名、科目コード、単位数、科目区分、学年・開設期、担当教員)</p> <p>2.授業概要</p> <p>3.一般目標(GIO)</p> <p>4.到達目標(SBO ; 薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠)</p> <p>5.授業計画(事前事後学修の具体的内容と時間、使用する教科書と参考書も含む)</p> <p>6.ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との対応</p> <p>7.試験及び成績評価の方法</p> <p>8.関連科目</p> <p>【授業計画書(シラバス)の作成過程】 ・「シラバス作成要領」(本学 Web サイトで公表。 https://assets.hus.ac.jp/about/assets/2025/docs/syllabus-youkou-2025.pdf) に基づき、学生支援センターから各学部・学科に対してシラバスの作成を依頼する。 作成要領には、上記シラバス項目についてそれぞれ注意点等を明記している。 ・各学部・学科においては、非常勤を含め、授業担当の教員にシラバス作成を依頼し、原稿が完成すると、学科内で分担を決めピアレビューを行う。その後、「学科教育自己点検会議」を開催し、修正点を集約、組織的な審議・確認によりシラバス原稿を完成させる。</p>

・完成した全科目のシラバスは本学教育系基幹システム「HUS-UNIPA」にシラバス検索ページのリンクを貼り、学生のみならず、学外者にも公開している。

(<https://unipa.hus.ac.jp/uprx/>)

【授業計画書の作成・公表時期】

シラバスは9月～1月の間で作成並びに上記の組織的な点検を終え、事務的なチェックを経た後、3月下旬までに「HUS-UNIPA」において公表する。

授業計画書の公表方法	本学 Web サイト「HUS ナビ・教務ブック」において公表 https://navi.hus.ac.jp/system/ 各学科ページの「授業計画書（シラバス）」にシラバス検索ページのリンクを公表
------------	--

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- ・本学のディプロマ・ポリシーは、大学を卒業した者に対して社会から求められる能力・資質（学士力、社会人基礎力、学力の3要素等）を意識した全学共通の項目によって観点別に作られている。
- ・各授業科目の達成目標は、ディプロマ・ポリシーの各項目の内容や観点と対応づけて設定されている。※2023年度までの薬学部の科目では薬学教育モデル・コアカリキュラムとの対応を示すSBOsが授業の到達目標として設定され、SBOsを観点別にまとめてディプロマ・ポリシーの項目と対応させていた。
- ・これにより各科目の達成目標（到達目標）も観点別に設定されている。
- ・各科目の成績評価においては、達成目標（到達目標）の観点にふさわしい手段を用いて達成状況の評価を行っている。具体的には、「知識・理解」に対応するものの達成状況は主に試験を用いて評価するが、「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」「技能」に対応するものについては、レポート、発表、作品などを用いたパフォーマンス評価を行う。
- ・達成目標（到達目標）とディプロマ・ポリシーの項目との対応、及び達成目標（到達目標）ごとの成績評価手段とその比率については、シラバス上に表で明示している。
- ・成績評価は絶対評価で行う。シラバスに明示した評価手段と比率を用い、評価の合計100点に対する60点を合格基準としている。成績評価区分は、秀(S:90～100点)、優(A:80～89点)、良(B:70～79点)、可(C:60～69点)、不可(D:0～59点)に分け、可以上を合格とする。
- ・卒業研究の評価については、学則第12条第2項に従い、成果を含めた評価の手段と基準を学科会議等で組織的に検討する。
- ・アセスメント・プランに則り、達成目標、評価手段と比率、成績評価分布、成績評価で使用した資料などを学科教育自己点検会議にて組織的に点検し検討することで、客観的、厳格かつ公正な成績評価を行うための不断の改善・改革を行う。

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学における客観的な成績評価指標は、わが国の大学で標準的に用いられているGPAを採用しており、以下のとおり算出している。 (1) 当該セメスタでの学修結果に対する GPA-S (=GPA for Semester) (2) 当該セメスタまでの学修結果に対する GPA-T (=GPA for Terms) <p>GPA 算出対象科目は履修登録した科目である。ただし、教職科目及び単位認定された科目は除く。</p> $GPA = \frac{\text{科目の (単位数} \times GP) \text{ の総和}}{\text{履修登録し、評価を受けた科目の総単位数}}$	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本学 Web サイト「HUS ナビ・教務ブック」内「成績評価ガイドライン」において公表 https://navi.hus.ac.jp/upload/files/pdf/system/gakubu-grade-guidelines.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

- ・本学における卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）は、本学校法人のブランドビジョン、本学の建学の精神、学部・学科の人材養成の目的に基づき、学科単位で策定している。
- ・ディプロマ・ポリシーの内容は、大学を卒業した者に対して社会から求められる能力・資質（学士力、社会人基礎力、学力の 3 要素等）を意識した全学共通の項目によって観点別に作られている。

(具体例：工学部機械工学科のディプロマ・ポリシー)

機械工学科は、「科学的市民」の育成という教育理念のもとに以下の資質や能力を身につけ、所定の授業科目を履修して卒業に必要な単位を修得した学生に、学士（工学）の学位を授与します。

1. コミュニケーション力

論理的な思考力、記述力、発表と議論の能力を有し、文化やバックグラウンドが異なるコミュニティとの交流・情報交換や、他者と適切なコミュニケーションを取ることができる。

2. 課題発見解決力

直面する問題を科学的かつ論理的に分析して課題を整理・説明する能力を有し、他者に働きかけ協力を得ながら解決案を構築し提案することができる。

3. 自らを律し、学び続ける力

目標達成のための計画を立案・遂行できる能力を有し、工学に関連する知識・技術を、自主的かつ継続的に学習することができる。

4. 多様な視点から物事を捉え、異なる意見を理解する力

持続可能な社会の実現に向けた科学技術の役割と責任を理解し、多様性を尊重しながら他者との共生に向けた行動をとることができる。

5. 専門的知識・技能を修得し、実践する力

機械工学に関連する専門的知識と技能を修得し、それを用いた論理的な思考で課題を分析・解析できる。

6. 総合力

修得した専門的知識を活用して工学的な基本的問題を解決し、その内容を論理的に説明できる。

- ・卒業の認定については、学則並びに履修規程に基づき、必要な単位の修得及び卒業付帯条件を満たしていることを教授会等で審議の上、学長が決定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

本学 Web サイト「情報公表」において全学科分を公表
<https://www.hus.ac.jp/about/public-info/dp>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	北海道科学大学
設置者名	学校法人北海道科学大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://ed.hus.ac.jp/jouhoukoukai/jigyohoukoku/
収支計算書又は損益計算書	https://ed.hus.ac.jp/jouhoukoukai/jigyohoukoku/
財産目録	https://ed.hus.ac.jp/jouhoukoukai/jigyohoukoku/
事業報告書	https://ed.hus.ac.jp/jouhoukoukai/jigyohoukoku/
監事による監査報告(書)	https://ed.hus.ac.jp/jouhoukoukai/jigyohoukoku/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:2025年度事業計画 対象年度:2025年度)
公表方法: https://ed.hus.ac.jp/jouhoukoukai/jigyohoukoku/
中長期計画(名称:第3期中期事業計画 対象年度:2025-2029年度)
公表方法:上記の2025年度事業計画内に記載あり

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.hus.ac.jp/about/project/evaluation/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.hus.ac.jp/about/project/evaluation/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 工学部、情報科学部、薬学部、保健医療学部、未来デザイン学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.hus.ac.jp/about/info/spirit/ ）
（概要） 本学は、「科学的市民※」の育成を教育理念の中心に据えて、知識基盤社会を担う市民としての汎用的技能・能力と時代の要請に即した専門の学術を教授・研究し、高い応用能力と健全な心身を備え、科学的思考によって専門職としての役割を主体的に果たせる人材を育成することにより、地域社会の活性化に寄与することを使命としている。また別途、学部・学科ごとに人材育成の目的を設定し、学内・学外へ周知している。 ※科学的市民とは「豊かな人間性ととともに、基盤能力と専門性を併せ持ち、専門職としての役割を主体的に果たせる人材」をさす。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： https://www.hus.ac.jp/about/public-info/dp/ ）
（概要） ・本学における卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）は、本学校法人のブランドビジョン、本学の建学の精神、学部・学科の人材養成の目的に基づき、学位プログラムたる学科単位で策定している。 ・ディプロマ・ポリシーの内容は、大学を卒業した者に対して社会から求められる能力・資質（学士力、社会人基礎力、学力の 3 要素等）を意識した全学共通の項目によって観点別に作られている。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法： https://www.hus.ac.jp/about/public-info/cp/ ）
（概要） ・本学における教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）は、ディプロマ・ポリシーを達成するための教育課程の編成・実施・評価について定めており、学科単位で策定している。 ・ディプロマ・ポリシーの各項目と授業科目の関連については、体系的に理解するためのカリキュラム・ツリー、科目の達成目標との関連性を集約したカリキュラム・マップを作成している。 ・学修成果やカリキュラムの点検・評価の方針についてはアセスメント・プランとして定めている。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.hus.ac.jp/about/public-info/ap/ ）
（概要） 建学の精神、教育目的に基づき学科別に 5 項目（①基本方針②求める人材像と学力の 3 要素③学力の 3 要素と求める多元的な評価④入学者選抜方法における評価の比重⑤入学前に習得すべき内容・水準）から成るアドミッション・ポリシーを策定している。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.hus.ac.jp/about/info/chart/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					人
工学部	—	26人	19人	2人	2人	0人	49人
情報科学部	—	6人	5人	3人	1人	0人	15人
薬学部	—	23人	15人	11人	7人	0人	56人
保健医療学部	—	28人	11人	13人	16人	3人	71人
未来デザイン学部	—	11人	9人	2人	1人	0人	23人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		193人					193人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：公表方法：大学のホームページ (https://gyoseki.hus.ac.jp/hushp/KgApp/)にて公表					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
FDのための総括的組織として、北海道科学大学FD委員会を置き、次の事項について組織的教育力の向上、教育の質保証に資する諸活動を行う。							
(1) 「教育履行上求められる資質・能力」の向上を図るための研修に関すること							
(2) 全学的FDの計画立案と実施に関すること							
(3) 教育組織ごとに実施されたFD活動の結果集約とその発表に関すること							
(4) 授業改善のためのアンケートに関すること							
(5) FDのための組織体制に関すること							
(6) その他組織的教育活動に必要と認められる事項							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
工学部	312人	308人	98.7%	1,488人	1,494人	100.4%	人	5人
情報科学部	100人	108人	108%	100人	108人	108%	人	人
薬学部	180人	189人	105%	1,080人	1,126人	104.3%	人	人
保健医療学部	260人	308人	118.5%	1,130人	1,180人	104.4%	人	人
未来デザイン学部	140人	150人	107.1%	530人	574人	108.3%	人	2人
合計	992人	1063人	107.2%	4,328人	4,482人	103.6%	人	7人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
工学部	366人 (100%)	12人 (3.3%)	339人 (92.6%)	10人 (2.7%)
薬学部	169人 (100%)	2人 (1.2%)	116人 (68.6%)	51人 (30.2%)
保健医療学部	258人 (100%)	9人 (3.5%)	231人 (89.5%)	6人 (2.3%)
メディアデザイン学部	127人 (100%)	2人 (1.6%)	107人 (84.3%)	10人 (7.9%)
合計	920人 (100%)	25人 (2.7%)	793人 (86.2%)	77人 (8.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 北海道科学大学大学院、北海道電力株式会社、J F E スチール株式会社東日本製鉄所、アルプスアルパイン株式会社、株式会社H B A、富士電機株式会社、R a p i d a s 株式会社、鹿島建設株式会社、 (備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
工学部	412人 (100%)	338人 (82.0%)	26人 (6.3%)	48人 (11.7%)	人 (%)
薬学部	188人 (100%)	117人 (62.2%)	55人 (29.3%)	16人 (8.5%)	人 (%)
保健医療学部	311人 (100%)	240人 (77.1%)	31人 (10.0%)	40人 (12.9%)	人 (%)
未来デザイン学部	136人 (100%)	115人 (84.6%)	12人 (8.8%)	9人 (6.6%)	人 (%)
合計	1047人 (100%)	810人 (77.4%)	124人 (11.8%)	113人 (10.8%)	人 (%)
(備考) 修業年限内卒業生及び留年生には転学者を含む。それぞれ、転学部への元の入学者数を減らし、転学部先の入学者を増やして計上。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>【授業計画書(シラバス)の構成】 本学のシラバスは、以下の項目で構成されている。</p> <p>(工学部・情報科学部・薬学部・保健医療学部・未来デザイン学部)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の基本的情報 (科目名、科目コード(科目ナンバリング)、単位数、科目区分、学年・開設期、担当教員) 2. 授業の目的 3. 授業の方法 4. 授業計画(事前事後学修の具体的内容と時間、使用する教科書と参考書も含む) 5. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との対応

- 6.達成目標
- 7.履修に当たっての留意点
- 8.試験及び成績評価の方法

(薬学部) ※2023 年度まで

- 1.授業の基本的情報
(科目名、科目コード、単位数、科目区分、学年・開設期、担当教員)
- 2.授業概要
- 3.一般目標(GIO)
- 4.到達目標(SBO ; 薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠)
- 5.授業計画(事前事後学修の具体的内容と時間、使用する教科書と参考書も含む)
- 6.ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との対応
- 7.試験及び成績評価の方法
- 8.関連科目

【授業計画書（シラバス）の作成過程】

- ・「シラバス作成要領」（本学 Web サイトで公表。
<https://assets.hus.ac.jp/about/assets/2025/docs/syllabus-youkou-2025.pdf>）に基づき、学生支援センターから各学部・学科に対してシラバスの作成を依頼する。作成要領には、上記シラバス項目についてそれぞれ注意点を明記している。
- ・各学部・学科においては、非常勤を含め、授業担当の教員にシラバス作成を依頼し、原稿が完成すると、学科内で分担を決めピアレビューを行う。その後、「学科教育自己点検会議」を開催し、修正点を集約、組織的な審議・確認によりシラバス原稿を完成させる。

【授業計画書の作成・公表時期】

シラバスは 9 月～1 月の間で作成並びに上記の組織的な点検を終え、事務的なチェックを経た後、3 月下旬までに「HUS-UNIPA」において公表する。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

- ・本学のディプロマ・ポリシーは、大学を卒業した者に対して社会から求められる能力・資質（学士力、社会人基礎力、学力の 3 要素等）を意識した全学共通の項目によって観点別に作られている。
- ・各授業科目の達成目標は、ディプロマ・ポリシーの各項目の内容や観点と対応づけて設定されている。※2023 年度までの薬学部の科目では薬学教育モデル・コアカリキュラムとの対応を示す SBOs が授業の到達目標として設定され、SBOs を観点別にまとめてディプロマ・ポリシーの項目と対応させていた。
- ・これにより各科目の達成目標（到達目標）も観点別に設定されている。
- ・各科目の成績評価においては、達成目標（到達目標）の観点にふさわしい手段を用いて達成状況を評価している。具体的には、「知識・理解」に対応するものの達成状況は主に試験を用いて評価するが、「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」「技能」に対応するものについては、レポート、発表、作品などを用いたパフォーマンス評価を行う。
- ・達成目標（到達目標）とディプロマ・ポリシーの項目との対応、及び達成目標（到達目標）ごとの成績評価手段とその比率については、シラバス上に表で明示している。
- ・成績評価は絶対評価で行う。シラバスに明示した評価手段と比率を用い、評価の合計 100 点に対する 60 点を合格基準としている。成績評価区分は、秀(S : 90～100 点)、優(A : 80～89 点)、良(B : 70～79 点)、可(C : 60～69 点)、不可(D : 0～59 点)に分け、可以上を合格とする。

<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究の評価については、学則第 12 条第 2 項に従い、成果を含めた評価の手段と基準を学科会議等で組織的に検討する。 アセスメント・プランに則り、達成目標、評価手段と比率、成績評価分布、成績評価で使用した資料などを学科教育自己点検会議にて組織的に点検し検討することで、客的、厳格かつ公正な成績評価を行うための不断の改善・改革を行う。 				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
工学部	機械工学科	124 単位	㊥・無	20 単位
	情報工学科	124 単位	㊥・無	20 単位
	電気電子工学科	124 単位	㊥・無	20 単位
	建築学科	124 単位	㊥・無	20 単位
	都市環境学科	124 単位	㊥・無	20 単位
情報科学部	情報科学科	124 単位	㊥・無	20 単位
薬学部	薬学科	189 単位	㊥・無	20 単位
保健医療学部	看護学科	124 単位	㊥・無	20 単位
	理学療法学科	124 単位	㊥・無	20 単位
	義肢装具学科	124 単位	㊥・無	20 単位
	臨床工学科	124 単位	㊥・無	20 単位
	診療放射線学科	124 単位	㊥・無	20 単位
未来デザイン学部	メディア デザイン学科	124 単位	㊥・無	20 単位
	人間社会学科	124 単位	㊥・無	20 単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法： https://navi.hus.ac.jp/upload/files/pdf/system/2025/newdep/gakubu-grade-guidelines-2024.pdf (成績評価ガイドライン)		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法： 「国家試験合格率」 https://www.hus.ac.jp/academics/nationalexam-passrate/ 「学生の学修時間に関するデータ」 https://assets.hus.ac.jp/about/assets/2024/docs/ir-consortium-2023.pdf		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.hus.ac.jp/about/public-info/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

【2025年度入学生】

(1年次)

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)	
工学部	機械工学科	1,400,000 円	200,000 円	円		
	電気電子工学科					
	建築学科					
	都市環境学科					
情報科学部	情報科学科	1,400,000 円				
薬学部	薬学科	1,550,000 円				
保健医療学部	看護学科	1,550,000 円				
	理学療法学科	1,450,000 円				
	臨床工学科	1,500,000 円				
	診療放射線学科	1,600,000 円				
未来デザイン学部	メディアデザイン学科	1,130,000 円				
	人間社会学科	1,030,000 円				

(2年次以降)

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)	
工学部	機械工学科	1,400,000 円	円	円		
	電気電子工学科					
	建築学科					
	都市環境学科					
情報科学部	情報科学科	1,400,000 円				
薬学部	薬学科	1,950,000 円				
保健医療学部	看護学科	1,550,000 円				
	理学療法学科	1,450,000 円				
	臨床工学科	1,500,000 円				
	診療放射線学科	1,600,000 円				
未来デザイン学部	メディアデザイン学科	1,130,000 円				
	人間社会学科	1,030,000 円				

【2024年度以前入学生】

(1年次)

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)	
工学部	機械工学科	1,400,000 円	200,000 円	-		
	情報工学科					
	電気電子工学科					
	建築学科					
	都市環境学科					
薬学部	薬学科	1,550,000 円				
保健医療学部	看護学科	1,550,000 円				
	理学療法学科	1,450,000 円				
	義肢装具学科	1,450,000 円				
	臨床工学科	1,500,000 円				
	診療放射線学科	1,600,000 円				
未来デザイン学部	メディアデザイン学科	1,130,000 円				
	人間社会学科	1,030,000 円				

(2年次以降)

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)	
工学部	機械工学科	1,400,000 円	-	-		
	情報工学科					
	電気電子工学科					
	建築学科					
	都市環境学科					
薬学部	薬学科	1,950,000 円				
保健医療学部	看護学科	1,550,000 円				
	理学療法学科	1,450,000 円				
	義肢装具学科	1,450,000 円				
	臨床工学科	1,500,000 円				
	診療放射線学科	1,600,000 円				
未来デザイン学部	メディアデザイン学科	1,130,000 円				
	人間社会学科	1,030,000 円				

【2023 年度以前入学生】

(1 年次)

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)	
工学部	機械工学科	1,300,000 円	200,000 円	- 円		
	情報工学科					
	電気電子工学科					
	建築学科					
	都市環境学科					
薬学部	薬学科	1,500,000 円				
保健医療学部	看護学科	1,500,000 円				
	理学療法学科	1,350,000 円				
	義肢装具学科	1,450,000 円				
	臨床工学科					
	診療放射線学科	1,500,000 円				
未来デザイン学部	メディアデザイン学科	980,000 円				
	人間社会学科					

(2 年次以降)

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)	
工学部	機械工学科	1,300,000 円	- 円	- 円		
	情報工学科					
	電気電子工学科					
	建築学科					
	都市環境学科					
薬学部	薬学科	1,900,000 円				
保健医療学部	看護学科	1,500,000 円				
	理学療法学科	1,350,000 円				
	義肢装具学科	1,450,000 円				
	臨床工学科					
	診療放射線学科	1,500,000 円				
未来デザイン学部	メディアデザイン学科	980,000 円				
	人間社会学科					

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生の学習支援を目的として全学的に「英語学習支援室」「ラーニングサポート室」を設置している。「英語学習支援室」「ラーニングサポート室」では英語・数学・物理の指導を行う他、学習方法に関する相談に対応している。また、薬学部では「学習相談室」を設置し、薬学教育学分野の教員へ学習の相談を行うこともできる。</p> <p>また、基礎学力補完のため、正課外でリメディアル講座を開講し、学修支援にあたっている。</p> <p>学生からの学業や学生生活全般にわたる質問や相談に対し、教員は授業時間内のみならず日常的に時間の許す限り対応しているが、学生とコミュニケーションを図る時間帯（オフィスアワー）も設定している。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>低学年からのキャリアとして、必須科目「キャリア形成ⅠⅡ」や任意プログラム「ビルドアッププログラム」を実施。その他「学内業界研究会」「個別相談」を通じて学生一人ひとりが希望の進路へ進むことができるよう学科ごとの特色に合わせたサポートしている。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none">・学生相談室に非常勤カウンセラーを配置し、カウンセリングを実施・学校医（内科・精神科）による健康相談日を設け、学内面談等を実施・定期健康診断未受検者を対象とした臨時健康診断を実施・学内でのインフルエンザワクチン接種・ガイダンスにて障がい学生支援・学生相談室の利用に関するパンフレットを配布し周知・学生医療互助会（外郭団体）における医療費の給付事業、100円朝食の提供、インフルエンザワクチン料金の一部補助(学内接種のみ)、自販機の生理用ナプキン料金補助

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.hus.ac.jp/about/public-info/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。